社団法人日本ネイチャーゲーム協会 平成18年度事業報告

I. 平成18年度の総括

社団法人日本ネイチャーゲーム協会（以下協会）は、平成9年の法人設立から10年目となる年度を修了した。

平成18年度は、17年度に引き続き文部科学省地域子ども推進事業（子どもの居場所事業）を自然体験活動推進協議会との連携および都道府県ネイチャーゲーム協会の協力を得ながら、全国54会場（1会場平均24.5教室開催 約1,300教室）にて開催、また、小学校へのネイチャーゲーム普及のアプローチとして、教員向けセミナーの開催や「小学校の授業に生きるネイチャーゲーム スタート編」を発行するなど積極的な普及活動が実施できた。

また、ネイチャーゲームが日本で普及されてから20年目となる年であることから、創始者のジョセフコーネル氏を招聘した記念事業を企画したが、コーネル氏の体調不良のため、コーネル氏招聘事業は延期することとなった。

ネイチャーゲームをとりまく社会的情勢としては、平成15年7月に制定された「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」での人材認定事業の登録が開始され、ネイチャーゲームリーダー養成講座が関係4省庁（文部科学省、環境省、農林水産省、国土交通省）に認定された。

県協会設立に関しては、県内会員の積極的な活躍により、新たに福井県ネイチャーゲーム協会が設立され、順調に組織の充実をはかる事ができた。

指導者養成事業は以下の通りとなった。

	平成18年度	平成17年度	平成16年度
年度末会員数	10,676名	10,500名	10,436名
会員更新率	85%	85%	85%
養成講座回数	82回	77回	84回
新規指導者登録数	1,522名	1,511名	1,579名
主催（登録者/回数/平均）	164名/09回/18.2名	62名/02回/31.0名	180名/09回/20.0名
課程（ " ）	658名/25回/26.3名	725名/27回/26.9名	660名/31回/21.3名
組織クローズ（ " ）	700名/48回/14.6名	724名/48回/15.1名	739名/44回/16.8名

一方、決算の結果としては、以下の通りとなった。

●正味財産の増減

(単位:千円)

	当期	前期	増減
経常収益	165,632	203,797	-38,165
経常費用	164,488	201,858	-37,369
当期正味財産増減額	1,143	1,940	-796
正味財産期末残高	38,695	36,584	2,111

●収益計算

(単位:千円)

科	目	予算額	決算額	差異
事業活動	収入	176,750	165,631	11,118
	支出	172,950	163,031	9,919
	収支差額	3,800	2,600	1,200
投資活動	収入	0	4,500	△ 4,500
	支出	200	5,909	△ 5,709
	収支差額	△ 200	△ 1,409	1,209
財務活動	収入	0	10,000	△ 10,000
	支出	3,600	10,000	△ 6,400
	収支差額	△ 3,600	0	△ 3,600
当期収支差額		0	1,190	△ 1,191
前期繰越収支差額		0	4,993	△ 4,993
次期繰越収支差額		0	6,184	△ 6,184

II.平成18年度の重点項目に対する報告

(1)「シェアリングネイチャーの理念の再確認と共有」

ネイチャーゲーム普及 20 周年記念実行委員会にて、コーネル氏より示されたシェアリングネイチャーの6原則(案)についての整理、協議を行い、指導員報にて中間報告をした。

(2)「21 世紀ビジョンの中間評価」

21 世紀ビジョンの中間評価を実施、現時点での 21 世紀ビジョンは組織内外の十分な認知、浸透がされていないことが明らかとなった。シェアリングネイチャーの6原則」案が示されたことにより、今後の運動の方向性がより明確になったことを踏まえて、ネイチャーゲーム 21 世紀ビジョンの方針を、「自然と共生する持続型地域社会の創造をめざして、ネイチャーゲームを活用してシェアリングネイチャー運動を推進しよう」と位置づけしなおし 21 世紀ビジョンの中間評価として、成果、課題を明らかにし、対策、見直しを行い、「人材育成と指導者養成」及び「地域組織の活性化と整備」に関する基本計画の作成に着手することとなった。

(3)「事務書類のペーパーレス化の推進」

重複資料の共有化、事務書類等のWEB共有化を推進した。

Ⅲ.事業部門別の報告

1) 普及振興事業

(1)主催事業の開催

①第16回全国ネイチャーゲーム研究大会

日程 平成18年6月2日～4日の3日間

会場 国立信州高遠少年自然の家

参加者 146名

長野県協会全国研究大会運営委員会 46名

②第1回全国一斉ネイチャーゲームの日

期日 平成18年10月15日(日)

報告者 79件(家族と11件、仲間と11件、ひとりで16件、イベント41件)

③地域ネイチャーゲーム普及促進フェア2006

子どもゆめ基金助成金『いのちのつながり』を感じるネイチャーゲーム自然教室

全国35会場

総参加者数843名

④文部科学省事業「子どもの居場所事業地域子どもネイチャーゲーム教室」

全国54会場

⑤スポーツ振興基金助成事業「ネイチャーゲーム研究集会」

会場 東京都国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者67名

(2)都道府県組織、地域ネイチャーゲームの会の活動支援

① 都道府県組織のためのメーリングリスト(T-NET)を運用した。

② 組織の為にネイチャーゲーム普及資料(組織支援チラシ)を作成・販売した。

③ 都道府県組織の運営のための「組織運営のための資料集 追加資料2007年度版」を作成し配布した。

④ 体験カード、シールを作成し、ネイチャーゲーム体験シール交付者を対象とした日本ネイチャーゲーム協会事業災害保障制度に継続加入した。

⑤ 都道府県組織、地域ネイチャーゲームの会の認知度をあげるために、HPでの掲載を行った。

(3)その他

① 講師の派遣を16回行った。

② 平成17年度 社団法人日本ネイチャーゲーム協会活動報告書を作成し、インターネット上で公開した。

③ 「ネイチャーゲーム講師プロフィール集」を作成、日本協会HP上に公開した。

④ 普及委員会を1回開催した。

⑤ ネイチャーゲーム普及20周年記念実行委員会を年間8回開催した。

2) 人材開発事業

(1)主催講座の開催

① 都道府県組織、日本協会、他団体主催でのネイチャーゲームリーダー養成講座

期日 平成18年4月～平成19年3月

開催地 全国57会場

受講者数 合計926名

②大学・短大・専門学校を対象とした課程認定校制度でのネイチャーゲームリーダー養成講座

期日 平成18年4月～平成19年3月

開催地 全国25会場

受講者数 合計715名

③ネイチャーゲーム指導員有資格者を対象とした講座の開催

・ネイチャーゲームフォローアップセミナー

期日 平成18年4月～平成19年3月

開催地 全国36会場

受講者数 合計597名

・ネイチャーゲームアドバンスセミナー

期日 平成18年4月～平成19年3月

開催地 全国5会場

受講者数 合計99名

・ネイチャーゲームコーディネーター養成/研修講座

期日 平成18年4月～平成18年11月

開催地 全国6会場

受講者数 合計70名（うち養成講座受講者31名）

登録者数 合計24名（平成16、17年度受講者からの認定も含む）

・インストラクター養成講座

期日 平成18年11月3日～5日、23日～25日

開催地 福岡、東京

受講者数 合計15名

登録者数 合計13名

・インストラクター研修講座

期日 平成19年2月23～25日、3月16～18日

開催地 岡山、埼玉

受講者数 合計54名

・講座講師養成講座

期日 平成18年2月3日～4日、22日～23日

開催地 東京、岡山

受講者数 合計17名

登録者数 合計12名

・トレーナー養成講座

期日 平成18年10月20日～22日

開催地 東京都

参加者数 2名

登録者数 1名

・トレーナー研修講座

期日 平成18年12月8日～10日

開催地 神奈川県

参加者数 19名

(2)印刷物の作成・発行

①リーダー養成講座開催のためのちらし・ポスターを作成し、各会場で活用した。
またデザインをリニューアルし、2007年度開催会場に向けて使用を開始した。

②新規リーダー登録者に指導員手帳を発行した。

③指導員報「自然案内人2007年度版」を発行した。

④「インストラクターニュースレター」を年2回発行した。

⑤インストラクターのためのメーリングリスト（INET）を実施した。

⑥インストラクターおよびトレーナーの講師派遣依頼等を支援するための「インストラクター支援チラシ」の作成に着手した。

(3)ネイチャーゲーム指導員登録者を対象とした、ネイチャーゲーム指導員災害保障制度に継続加入した。

(4)指導者養成委員会を年間4回開催した。

3) 自然学校事業

(1) 文部科学省委託事業 省庁連携子ども体験型環境学習推進事業「戸隠環境ジュニアボランティア」

・第1回 平成18年10月21日 小学生18名

・第2回 平成18年11月18日 小学生20名

・第3回 平成19年 2月3日 小学生15名

(2) 子どもゆめ基金助成事業「戸隠子ども長期自然体験村」

・期日 平成18年7月30日～8月12日

・参加者 小中学生20名

(3) 子どもゆめ基金助成事業「戸隠村子ども里山ボランティア（フォレストリーダーズクラブ）」

・第1回 平成18年8月19日～8月22日 小中学生19名

・第2回 平成19年3月25日～3月28日 小中学生20名

(4) 子どもゆめ基金助成事業 戸隠村子ども地域活動促進事業「森の子キャンプ」

・第1回 平成18年5月21日 21名

・第2回 平成18年7月15～16日 19名

・第3回 平成18年9月30日 18名

・第4回 平成18年10月9日 21名

(5) ネイチャーワークショップ開催「大人のためのネイチャーゲームセミナー」

・期日 平成18年11月1日～3日 一般、指導員10名

4) 広報出版事業

- (1) 会員向け会報を年4回（6/15・9/15・12/15・3/15）発行した。
- (2) ホームページを充実させ、当協会の事業活動を効果的に伝えるための整備を行った。特にリーダー養成講座の集客を目的としたインターネット上の広報システムについて整備をした。さらに、QRコードを利用した広報の展開や、携帯電話用のホームページの運用を開始した。
- (3) 当協会の活動についてテレビ・新聞・雑誌等あらゆる機会を通じて広報に努めた。
- (4) 自然災害ボランティアセミナーを8回（一般3回、研修5回）開催した。
- (5) 「小学校の授業に生きるネイチャーゲームスタート編」の作成を行った。

5) コース教材教具の開発事業

- (1) 教材・教具及びコースの開発認定委員会において、以下の教材を認定した。
 - ・自然の紋カード

6) 調査研究事業

- (1) アクティビティ開発認定委員会を3回開催し、以下のアクティビティを認定した。
<ツリーオークション><自然のかさねことば><アニマルトレイル>
<鳴きまね合唱団>
- (2) アクティビティ開発ワークショップを実施した。
- (3) 事例・研究集を発行し、インターネット上で公開した。
- (4) ネイチャーゲーム課程認定校研究者集会
期日 平成19年3月12日～13日
開催地 浜松学院大学短期大学部・早出幼稚園
参加者数 14名（10校からの参加）
- (5) トヨタ環境活動助成事業として、「環境教育のための教員研修プログラムの開発」を行った。本事業内で体験型環境教育研究会を9回開催し、授業に活かす自然体験活動を進めるための教員研修セミナーを2回開催した。
期日 平成18年7月17日、平成18年8月13日
参加者 合計18名
開催地 東京
実践報告会
期日 平成18年11月23日
参加者 13名
開催地 東京
- (6) 文部科学省事業「青少年の自立支援事業」において、地域と子どもを取りまく課題とネイチャーゲームの成果についてのアンケート調査およびトライアル行事を実施した。

7) 助成顕彰事業

- (1) ネイチャーゲーム奨励賞（指導者部門、組織部門）の表彰を行った。
- (2) 都道府県協会及び地域ネイチャーゲームの会への助成金の交付を行った。

(3)表彰審査委員会を年間1回開催した。

8) 国際交流事業

(1)JICAプロジェクトとして、海外でのネイチャーゲーム普及のモデル事業を行った。

(2)国際普及支援検討委員会については今年度は開催しなかった。

(3)社団法人日本ネイチャーゲーム協会を紹介する英語のホームページ作成については、指導者養成事業の集客を中心とした日本語ホームページのリニューアルを優先させた為着手できなかった。

以上